

優 秀 作 品

<p>はたけの だいこん 5歳 いろはさら</p>	<p>はたけの だいこん 6歳 中村睦太郎</p>	<p>うらにわから むしのこえ 3歳 前田悠花</p>	<p>うらにわから むしのこえ 4歳 豊本彩乃</p>	<p>うらにわから むしのこえ 5歳 有田日菜子</p>	<p>うらにわから むしのこえ 6歳 木山まひや</p>
<p>夕方、虫の鳴き声を 聞いていると秋ら しい気分になる。 三三三 高杉晋助</p>	<p>夕方、虫の鳴き声を 聞いていんと秋ら しい気分になる。 二二二 栗 さら</p>	<p>高れい者や身体が弱い人 をねらうの犯罪が増加 しているのは言語道断だ。 四四四 正田徳花</p>	<p>高れい者や身体が弱い人 をねらうの犯罪が増加 しているのは言語道断だ。 四四四 高橋清花</p>	<p>高れい者や身体が弱い人 をねらうの犯罪が増加 しているのは言語道断だ。 四四四 佐々木希衣</p>	<p>高れい者や身体が弱い人 をねらうの犯罪が増加 しているのは言語道断だ。 三三三 東谷佳信</p>
<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 三三三 大野肇子</p>	<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 二二二 海田聖香</p>	<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 二二二 水野舞子</p>	<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 二二二 西川友菜</p>	<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 四四四 加地 司</p>	<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 三三三 青山れいか</p>
<p>家ぞくて東京 へりよ行する。 三三三 松本心乃</p>	<p>家ぞくて東京 へりよ行する。 三三三 吉田 聖</p>	<p>家ぞくて東京 へりよ行する。 二二二 小林たつき</p>	<p>家ぞくて東京 へりよ行する。 二二二 澤 妃愛乃</p>	<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 三三三 加地 司</p>	<p>運動会ではしよう 害走に出場する。 三三三 青山れいか</p>
<p>夕やけ小やけ の赤とんぼ。 三三三 大野こうた</p>	<p>夕やけ小やけ の赤とんぼ。 三三三 宇野愛梨</p>	<p>夕やけ小やけ の赤とんぼ。 二二二 大矢じゆゆ</p>	<p>夕やけ小やけ の赤とんぼ。 二二二 澤 妃愛乃</p>	<p>夕やけ小やけ の赤とんぼ。 三三三 加地 司</p>	<p>夕やけ小やけ の赤とんぼ。 三三三 青山れいか</p>
<p>竹取物語は、かぐや姫のお話 として親しまれ伝承されて きた最初期のものである。 五六段 栗山かほる</p>	<p>竹取物語は、かぐや姫のお話 として親しまれ伝承されて きた最初期のものである。 五六段 菅原実都</p>	<p>竹取物語は、かぐや姫のお話 として親しまれ伝承されて きた最初期のものである。 五六段 上林千織</p>	<p>琳派の画家達は、画題として 忌景的であった秋草を主題に 引き出す詩情豊かに描いた。 五六段 黒田 勝範</p>	<p>琳派の画家達は、画題として 忌景的であった秋草を主題に 引き出す詩情豊かに描いた。 五六段 内田祐実</p>	<p>琳派の画家達は、画題として 忌景的であった秋草を主題に 引き出す詩情豊かに描いた。 五六段 奥村真由</p>